

令和6年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和6年10月9日（水）

地 区 沼ノ端・拓勇地区

会 場 沼ノ端交流センター

<意見交換>

◆市民 ウトナイ町内会の・・・です。今日の発言の項目は、まちかどミーティングの町内会の要望事項の21番目の件です。

これに書いてあります取組状況など、いろいろ書いているんですけども、ちょっとこれを補足するような形で発言させてもらいます。

この西1条通りは交通量が多いとされていますけれども、まさしくそのとおりで、要望するのは、大型車両の騒音と振動と粉塵なんですけれども、その中の騒音が際立って大きいということで、これについて、この取組状況を補足させてもらいます。

そして、交通量は非常に多くて、大型車両は令和3年度に測定してもらった結果、朝、昼、夕方、各1時間ずつ3時間で合計84台の大型車両が通行しております。ちなみに、平成26年に測定したときよりも、2倍強の通行量に増えております。

あと、それと西1条通りの道路の状況ですけども、幹線道路とうたっていますけれども、普通の市道の広さの道路で、片側1車線が4.5メートル、そして家の敷地と道路までの間が植込みも含めて4メートルです。車線が片側1車線の4.5メートル離れています。それで、大型車両は、家の敷地から4メートル、4.5メートルから計算すると、5、6メートルのところを通行しています。

それで、騒音の数値ですけども、これ、騒音の要請限度値というのは、住宅街の中の道路で一般乗用車も多数通行しておりますので、恐らく法律的には限度値の75デシベルは100%超えることはない、自分は断定しています。

それで、大型車両の瞬時値は、ほとんどがもう75デシベルを超えているような状況の数字になっています。そのような状況ですので、もう敷地から5、6メートルのところを大型車両が、平均、測定した結果の速度が50キロ速度で走行しています。そういう状況で、大げさに言えば、びゅんびゅんと走っているような状況ですので、その大型、特にトラックについては皆さんもよく分かるように、非常に騒音はうるさいと感じていると思いますので、その敷地から5、6メートルのところを、制限速度が40キロのところを50キロぐらいで走っていたらどういう音が想像できると思います。

それで、この辺のところも環境が随分悪化していると自分は感じていますので、ぜひその環境悪化が少しでも緩和されるような手だてをいろいろと考えていただきたいと思います。

以上です。

○司会 はい、ありがとうございます。ただいま、事前要望の21番に関して、特に騒音の部分についてかと思いますが、少しでも改善してほしいということでしたが、市のほうから回答をお願い

いできますでしょうか。

◎**市民生活課長** 市の交通安全を担当しております、市民生活課の畑島と申します。

昨年もお話をいただいた中で、道路の改良も含めてお話があったかと思います。

この話について、警察署のほうともお話をいろいろとさせていただいているんですけども、なかなかこの車両の規制、車両の交通規制とか、あと速度の規制というのは、現状としては、今は難しいということで、警察のほうからの見解は一度いただいております。

そのような中で、大型車両というところが特に特化されていることになりますので、今後、各関係企業であるとか、例えばトラック協会さんとか、そういったところにも、こういったところの車両の交通の部分だけを別な通路を迂回するというか、走行するという形で協力、理解いただけないだろうかというところのお話というのも、今後必要になってくるかと思うので、いろいろとちょっと時間がかかる話にはなるかもしれないですけども、ちょっとその部分は今後、今ある規制の中でなかなか厳しいという見解も出ている中もありますので、まずはそういった働きかけというのも、こちらのほうからもお話をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○**司会** よろしいでしょうか。

◆**市民** 今、去年も何か議題に上ったと、去年も自分はこの場所で発言したんですけども、ぜひ何かいい知恵があるんじゃないかなと思って、いろいろと考えていただきたいと言うけど、ここ、ちょっと強調したいんですけども、沿線住民の人は、町内会の人、何人かに聞いたら、「いや、もうすごくうるさいんだわ。」と言っておりまして、「いや、だってそんなことをこういう場所で言っても取り上げてくれないよ。」とか、何か諦めムードの感じなんですよ。

もう極端に言ったら、夏の暑いときに、窓なんて開けて、家の中で会話もできない状態です。そういうのも含めて、今日は、環境悪化は後かじわじわと住民に効いてくると思いますので、その辺も含めていろいろと考慮していただきたいと思います。

○**司会** それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。今、マイクをお持ちいたします。

◆**市民** 沼ノ端中央町内会の・・・と申します。6日の早朝に、東開町で熊の目撃情報があったと新聞に出ておりました。それを市に問い合わせますと、環境部のほうで何らかの対応をされたとは聞いているんですけども、私の孫が沼ノ端小学校に通っておりまして、7日、8日、9日、この三日間、学校のほうから何らかの連絡があるかと思ったら、一切来ておりません。

ですから、教育委員会としては、こういう問題に対してどのように対応されているのか、それをお聞きしたいんですけども。

○**司会** はい、ありがとうございます。10月6日の熊の出没についてということでしたが、市のほうで回答できる方、いらっしゃいますか。

◎**環境生活課副主幹** ヒグマの対策を担当しております、環境生活課の高坂といいます。ちょっと私のほうから回答をさせていただきたいと思います。

10月6日、早朝、5時25分ぐらいだと思っておりますんですけども、目撃があったということで、ちょっと詳細をお話すると、我々も対策を取らなければいけないというところがありまして、実は

午後に目撃者の方とお話をさせていただきまして、我々も全ての案件に対して、熊が出たという
か、目撃があった場合には、必ず全件、痕跡ですとか、本当にまだそこに居座っていないか、と
いうことも含めて調査を、我々市と警察と猟友会の方に入っていただいて、必ず調査を行います。

その結果、6日の案件に関しては、爆竹を鳴らして防除のほうも行ったんですが、実は鹿が出
てくるという状況で、熊の痕跡というのは一切なかった状況です。

そういったことも含めて、教育委員会にもそういった情報を流して、我々としては、その後、
対策としてパトロールは、環境の部局を中心にパトロールを行ってきました。昨日までパトロー
ルを行ったんですけれども、以降は目撃情報もなく、痕跡等も見当たらないということから、教
育委員会のほうも我々のパトロールのほうで今回は対策をさせていただいたということで、一応
連携はさせていただいておりますので、今回はそのような対策を取っております。

◆市民 環境部さんが対応されたことについては、私は聞いております。しかし、教育委員会のほうか
ら何も聞こえてこないものですから、それでどうされるのかなと。安全なら、「こういうことを
したから安全です。」ということがあれば安心できますし、熊なんて毎日出るわけがないですよ
ね。三日間出なかったから出ないとも言えないわけですよ。ですから、これから先もあると思
うんですが、教育委員会としての対応について、これはおかしいかなと私は思いますね。

◎副市長 教育委員会の対応はどこから指示しているの。

◎環境生活課副主幹 一応うちと連携はしているんですけど。

◎副市長 新聞報道では、熊が出没したという情報があつて、その後、どうなったんだという情報が皆
さんのところには届いていない。そして、教育委員会として、どういった対応をしたんだとい
うところが見えないということです。明日にでも教育委員会のほうに対応を確認した上で、・
さんのほうに連絡するなりしたほうがいいですか。

◆市民 いえいえ、私、個人のものではありませんので、これは皆、沼ノ端小学校、中学校、校区の人
たちにとって、みんな同じ思いだと思うので、何らかの形で知らせいただければ。

◎副市長 やはり出没したという情報だけが流れて、その後、それは違ったんだとか、鹿だったんだと
か、そういうことがないと、やっぱり皆さん不安になると思いますので、そういったことも含め
て市、それと教育委員会サイドとしっかり連携をして、今後、情報の提供の仕方というものは検
討していきたいというふうに思います。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 ウトナイ町内会の・・・と申します。要望番号の24番のことで、私、交通指導員もやっているの
で、毎年懸念されることは、除雪した雪がちょうど小学校に入るところ、手押しボタンがあるん
です。手押し信号。そこの手押しのところに除雪して道路から持ってきたものがそこに置かれ
るんですよ。毎年そうなんです。私も、毎年、そこのところに除雪してから入るんですけど
も、子供たちを見ていると、すべったりして転んだりしていることも何回か見えています。

これ、ぜひそういう場所、ところに雪を置かないようにお願いします。

そして、置いたにしても、私も本当に昼間、市道に除雪しても大変な話です。その辺、よろし
くお願いしたいと思います。

○司会 ありがとうございます。ただいま、事前要望の24番に関して、除雪した雪が手押し信号のところに寄せられているということでしたが、市のほうから回答をお願いいたします。

◎道路管理主幹 除雪を担当しております、維持課の菅野といいます。毎年、雪の関係で、雪を押して、交差点の角とか、そういうところにちょっと高く積み上がってとか、今おっしゃられた押しボタンの信号機のところに雪山があって、押しボタンが押せないとか、そういったような状況が何件か毎年出てきますので、そのたびにここの場所についてはこういう注意点があるよということを、その担当している除雪業者のほうに伝えて、そこには置かないようにとか、あるいは積み上がった雪はもう下げるようにとか、そういったような指導を行っていますので、今回の今ご指摘いただいた場所についても、そういう押しボタンがあったりとか、そういう生活に支障があるような形に雪が盛らさっているということなので、今後ちょっと注意箇所そこを指定して、業者のほうに伝えてまいりたいと思いますので、ちょっと詳しい場所を後で、終わった後に教えていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○司会 それでは、後ほど場所のほうは確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。先ほど手を挙げていた方。

◆市民 沼ノ端北栄町内会、・・・といいます。私、北栄町内会で体育部長をしております、スポーツ都市推進課の方に、できればの要望なんですけれども、9月のウォーキングフェスティバルを推進課さんのほうで行ったんですね。それで、スポーツ推進課のほうは28日の日に新栄公園といって、沼ノ端の大きい公園から、遊歩道を使って歩くというイベントでした。

翌日、町内会のウォーキングラリーという、それもスポーツ推進委員のほうの主催で町内会が後援しているというイベントだったんですけど、町内会のほうではちょっと推進課さんのほうのイベントがちょっと分からなくて、二日続けて同じイベントが続いたということなんですよ。去年は、1週間からたしか2週間程度離れて行っていたものですから、今回は、28、29と続いていたものですから、一部の人から、これ、同じ町内会でやるのかとか、ちょっと混同されてしましまして、健康維持のためにも歩くということとはとても喜ばしいことなんですけど、町内会の行事として、また見たときに、続けて同じイベントをやられるのもちょっとどうなのかなと。離れて、1週空けてやるとか、そういった形で、スポーツ推進委員の方もいますので、日程のほうの調整だとかをしてもらってやっていただければいいのかなと思いました。来年の参考になればと思いますので、それだけです。

○司会 ありがとうございます。ただいま9月のウォーキングのイベントが、連日続いてしまったということで日程の調整のほうということでしたが、市のほうから回答をお願いいたします。

◎スポーツ都市推進課長補佐 スポーツ振興を担当しています、榊田と申します。そうですね、おっしゃるとおり、今年9月28日にウォーキングフェスティバル、市のほうで主催いたしまして、そよ風と遊ぶ道を歩いていただいたんですけれども、その後に同じスタート位置で日曜日にこの8区の町内会のウォーキング事業も開催されました。

ちょっと私たちも事業計画等を踏まえて、早めに調整をすればよかったんですけれども、結果的に二日連続になってしましまして、ちょっと混乱を招いた部分もありましたので、地区の推進

委員さんと綿密に連携を取りながら、今後は、ちょっと場所は、来年度はまた別な場所になる可能性が、たまたま本当に今年はこの地区で新たにそよ風と遊ぶ道がすこやかロードに認定された関係もあって開催したんですけれども、なるべく日をずらして実施するようにしたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○司会 それでは、次年度については間隔を調整してということでしたので、よろしくお願いいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。すみません、前から3列目の方。

◆市民 東開町内会の・・・と申します。これはちょっとお願いなんですけれど、道栄荷役さんの臨海通りですね。道栄荷役の旧事務所の前ぐらいかな、かなりアスファルトが盛られていて、あそこを通ると、物積んでるとバラバラになるんですよね。あそこまで盛らなくもいいんじゃないかなと思うので、できればちょっとあそこを削ってほしいなと思ひまして、お願いいたします。

○司会 ありがとうございます。ただいま、道栄荷役のある臨海通りのところのアスファルトが結構盛られているということでしたが、市のほうから回答をお願いしますでしょうか。

◎道路管理主幹 市道の修繕を担当している、先ほど除雪も担当していたんですけど。今お話しいただいた道道の4車線道路のことですね。その車道が盛り上がっているということでしょうかね。

◆市民 そうなんです。市役所の人も通っているんじゃないかと。

◎道路管理主幹 道栄荷役の。

◆市民 旧事務所のちょっとこっち側寄りかな。

◎道路管理主幹 そうしたら、山側の通りですよ。

◆市民 実際はそれ、真ん中の通り。

◎道路管理主幹 真ん中の通り。

◆市民 3車線…。

◎道路管理主幹 ちょっと私どもでは道道の補修はなかなか難しいので、私どもから北海道のほうに、苫小牧出張所というところがそこを管理していますので、そこに場所をちょっとお伝えして、こういうことなんですということを強くお話ししようと思ひますので、もうちょっと詳細な場所を後で教えていただきたいなと思ひますので、よろしくお願いします。

○司会 それでは、後ほど場所を確認させていただきまして、道道のほうに市から伝えるということで、よろしくお願いいたします。それでは、ほかに。今、2回目でちょっと手を挙げられているんですけど、ちょっと1回目の方で先に優先したいと思ひますので、まだ発言されていない方、後ろの方、お願いします。

◆市民 沼ノ端中央町内会の・・・です。沼ノ端駅なんですけど、南口側に大きいテレビを置いているんですけど、それがちょっと故障中で置きっ放しになっているんですけど、ちょっとそれは今後どういうふうにするのかなと思ひまして、質問しました。

○司会 ありがとうございます。ただいま、沼ノ端駅の南側、テレビが故障しているということでしたが、市のほうから回答をお願いします。

◎交通政策主幹 乗り物を担当しています村上と申します。南口の、恐らくデジタルサイネージの画面かと思うんですが、あれ、実を言うと、ご利用されている方がどなたかが壊してしまったんです

ね。それで警察のほうにも被害届を出しているんですけども、ちょっとご当地ナンバーの補助金を使っている関係もありまして、まず、今、警察さんのほうにきちんと被害届を出して、実証した後にどういう対応するかとなっております、私たちも早く何とかしたいんですけど、まずはそのところで被害届を出して、次のステップを待っているというところでございますので、大変ちょっといろいろやきもきさせていると思いますが、どうぞご理解ください。失礼いたします。

○司会 それでは、ちょっと対応については少し時間をいただきたいということでしたので、よろしくお願いいたします。それでは、まだ発言されていない方でどなたかいらっしゃいましたか。

今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 東開町の・・・と申します。私は、今、交通指導員のほうをやってまして、その要望番号の1に関連してお願いします。毎回ではないんですけども、トラックのスピードオーバーの、いろいろ交差点の進入が多いんですよ。やはり死亡事故にもなっていますし、ましてやあそこは児童が通る交差点なので、やはり直接トラック協会のどなたか、やはり一回実態を見てもらって、トラック協会のほうからも何らかのお話をしていただきたいという要望でございます。

○司会 ありがとうございます。ただいま事前要望の1番に関してでしたが。

◎市民生活課長 市の交通安全担当の畑島でございます。まず、今お話のありましたトラック協会の方にも一度見ていただくというお話の中で、先ほどもちょっとトラック協会のほうにもお話をさせていただくというような内容のご相談の趣旨もありましたので、一度、こちらのほうからお話をさせていただいて、一緒にそういった現場の確認というのをさせていただけないかというのを、こちらのほうからまず声かけをさせていただきたいと思いますので、またちょっとそこを含めて改めてお話をさせていただければと思いますので、時間をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

◆市民 よろしくをお願いします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。もし1回目がなければ、2回目以降をお受けしたいと思いますので。

◆市民 沼ノ端中央町内会の・・・でございます。中学校の部活動についてちょっとお尋ねをしたいんですけども、説明会が以前あったようなんですが、私は出席できなかったものですから、重複になるかもしれないんですけども、今、中学校の部活動が、学校を離れる形で部活動がこれから先は行われていくということを、大まかですが、聞いているんですが、どういうふうに進めていくのか。

何か令和30年ぐらいまでに移行期間を設けていくようなんですが、私、軟式テニスの連盟の事務局長を昔やっておりましたので、テニス関係者で聞いてみたら、「苫小牧市は来年からもう既に新しい形に移行しますよ。」というふうに聞いたんですよ。まだ移行期間のはずなんだけど、もう来年からすぐにそう動くということは、ちょっとどうなっているのかなということと、それから関係者に聞いてみたら、じゃあ、そういうふうにして中体連もなくなってしまうのであれば、例えば市の大会、道の大会、全国大会ですね、これはどのようにこれから先は運営していくんだろうかと。

苦小牧で国体が平成元年に行われまして、苦小牧市は軟式庭球とフェンシングだったんです。それで、私どもは国体とかインカレ、インターハイ、全中という大きな全国大会に携わらせていただいたんですが、そういう大会をするのは大変なことなんですよね。民間の人たちがやっていく、仕事を持ちながらそういうものに携わっていくということは、どう考えても無理だろうと思うんですね。

ですから、その学校を離れてしまって、民間でやっていくということは大変なんですけど、その辺について、予算化についても、予算について何も聞かなくていいということをお願いしております。ですから、どのように進めていくのかももう一度ご説明いただければと思います。

○司会 ありがとうございます。ただいま、中学校の部活動の地域移行についてのお話がありましたので、市のほうから回答をお願いいたします。

◎学校教育課長 学校教育課の江原と申します。よろしくお願いいたします。

部活動の地域移行につきましては、ただいま様々な競技ごとで、教員の専門委員会の先生方とそれぞれの競技について今後の見通しというのを調整しているところです。ですので、競技によって、拠点校というような形で何校が集まってということが始まっている競技もございますが、ただいまありましたテニス、ソフトテニスかなと思うんですが、そちらのほうはまだ専門委員会の先生方と話を詰めている段階ですので、まだ来年度以降から、もう地域の文化活動というか、地域移行が進んで、完全に民間になるよというお話が決定したということではなくて、今はまだ部活動というのは存在しておりますので、その競技の将来的な意向を詰めている最中なんですよね。

ですので、また、6月、7月に保護者説明会をさせていただきましたけれども、そのときにも、市内でも各学校の地域によって状況も異なりますので、来年度以降の見通しというのを、現時点での状態をお示しさせていただいたところです。

ですので、テニスも含めましてですけども、今後また、まだ移行期間の途中という段階ですので、令和10年度を目途に地域に完全に移行できればということを目指しているところではございますけれども、また随時情報というか、競技ごとに内容が決定してまいりましたから、随時ホームページですとか、学校側から周知できるような形で進めていきたいと考えておりますので、また状況が変わり次第、最新の情報をお伝えできるようにしていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◆市民 競技をやっている人たちの力をいただいて、やっていこうというのかもしれないんですが、競技人口はそんなにいませんし、今、私の年齢から考えても、私の知合いはみんなもうある程度の年齢になっていますね。ですから、四、五年ぐらいまでは見通しが立ちますけど、でもそれから先ですよ。20年、30年後のこの地域移行という問題が見えてこなければ、これはまずいんじゃないかなと思うんですね。

ですから、地域、地域と言いますが、競技をやっている人たちはすぐに移行できるんですけど、もっと広げて、本当に地域全体でやっていけるためには、もっと緻密な会議だとかをやっていないといけないけれども、あくまでも国から来ているんでしょう、これは。国の方針がはっ

きりしなければ、私たちがどうしていいかということ勝手にやることもできないという形になっているんじゃないかなという気がするんですが、そうですね、やっぱり。

ですね。国もはっきりとした先が見えていないんですよね、これ。

ですから、30年前に土曜日が休日になりましたよね。あのときも、詰め込み教育だとか受験教育で、もっとゆとりのある教育に変えるべきだとかということで入ってきました。もちろん勤務時間の問題もありましたけれども、今回も、何のために中学校の部活が地域移行しなきゃならないのかということが明確じゃないんですよね。

働き方改革で、どうしても先生方がこれ以上、部会に携わることが無理なんだと、僕は多少理解できます。どれだけ大変な思いをしてやってきたか、私も分かっています。ただ、正当に頑張っている先生が評価されていないのはずっと思っていました。だけど、地域に移行というのは、ちょっと無理じゃないかなという気がするんですけども、国が決めちゃったらやらなきゃならないんでしょうけれども、そのためには相当市も支えていただかないと、いろんな面で難しいのかなという気がするんですけども、もっとそういう機会を増やしていただいて、意見を聞かせていただきたいと思います。

◎学校教育課長 今お話のあったとおり、国のほうで推進機関というところで始まっているところと、教員の方の負担軽減というところ、また、子供たちの継続的な活動の機会ですとか、場所とかの保障というところで、今、教育委員会のほう、また市全体といいますか、市のほかの関係部局も協力してという形で考えていきたいなと思っておりますので、貴重なご意見をいただいております。ありがとうございます。

まだ将来的なところが完全にお示しできなくて申し訳ないところなんですけど、いろいろ今日いただいた声も参考にして、将来的にいい方向に進むように取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◆市民 もう1点いいですか。

先ほど申し上げましたように、大きな大会をするには、市の職員さんたちの力を借りて、実は、大きな大会はみんな運営しているんですね。ですから、もしそういう形で、子供たちのために、市の大会、道の大会、全国規模の大会等をもし行うのであれば、市の方たちが相当に力を貸してもらわないと運営できないと思うんですね。ですから、市のトップの方は、それについてどう考えていらっしゃるか、一言、ご意見をいただきたいと。

◎副市長 この地域移行に関しましては、始まった、スタートラインに立ったばかりで、全国的にも、いろんな地域の実情ですとか、スポーツ団体、あと人口規模においてもかなり進み具合ですとか、本当にどこに到達できるかというところもまだ教育委員会も見えていない部分であります。

そういった意味では、これから本格的に地域移行が本当にできるのかも含めて、我々としても協議経過を見ていかなきゃいけないと思っていますので、いろんな競技団体の方々そういう率直なご意見もお伺いしながら進めていかなければいけないことでもありますので、そういったことを見定めた上で、実際に何をしなきゃいけないということ、何をしていかなければいけないか、そういったところも課題を抽出しながら、この地域移行を実現に向けて、教育委員会、市

としてもしっかり取り組んでまいりたいと思っております。

どんどんご意見を下さい。そういうことでよろしいでしょうか。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 沼ノ端中央町内会の・・と申します。直接この議題に沿うかどうか分からないんですけども、私、ここの地域のイベントの沼フェス、新栄公園ステージフェスティバルの実行委員長を今年からやっております。

それで、沼ノ端地域を盛り上げるため、この若い地域を活性化させるために有志が集まって、このイベントを企画して、今年で8年目になります。

最初のうちは、市のほうから、芸術振興助成金のほうで書類を出してやらせていただいていたんですけども、近年、その額もどんどん減少している傾向がありましたので、書類を出すのも結構大変なものですから、それを今年から出さなかったという経緯があります。

入場者数、今年はちょっと雨で6,000人ぐらいしか来なかったんですけども、その前の晴れているときは1万二、三千人来ています、1日で。それだけのイベントをこの地域で有志でやっているということに対して、市のほうでももう少し何らかの協力をしてもらえないのかなと。

7月の第一週目に沼フェスをやっています。なぜ7月の第一週目にしたかというのは、東から真ん中、西に1か月ずつ苦小牧市の大きなイベントが流れるように、7月の頭にしています。そこまで考えて、このイベント、新栄公園のステージを使わせていただいて、アーティストを呼んで、大きなイベントをやっております。これから何らかの形で市のほうから協力してもらえないのかなと。後援はいただいております、名前だけは。ですけど、ほかの部分ではなかなか、そっぽを向かれているようなところもありますので、何とか歩み寄って何かできないのかなというふうに思うんですけども、その辺はどうでしょうか。

○司会 はい、ありがとうございます。ただいま沼ノ端地区で実施している沼フェスについて、市のほうでもっと支援していただけないかというようなお話かと思いますが、ちょっと担当がいらないというようなことなんですけど、副市長、大丈夫ですか。

◎副市長 これ、・・さん、協力というのはお金の面の協力ということ。

◆市民 そうですね。それが一番のあれですね。

◎副市長 これ、最初は助成金をいただいていた。

◆市民 はい。生涯学習課。

◎副市長 生涯学習。いや、今回、SHOKICHIさんプレゼンツなんかもやって、新聞報道でもいろいろ取り上げられて、盛大に開催されたということは私も存じております。

ただ、そういった中で、市内のイベント、いろんなイベントを開催しておりますので、そういった中で、この沼フェスに関してどういった支援ができるのか、ちょっともう少し来年に向けて、・・さんも含めて、実行委員会の方も含めて協議する場というのが設けられればいいなと思っていますし、私たちは無視していたわけでもありませんし、やっぱり市内で盛り上げていただいている方々がいるというのはありがたい話ですので、そういった意味では、担当がどこになるのか、私が指名しますので、そちらのほうと話していただくようなことでよろしいでしょうか。

◆市民 そうしたら、連絡が来ることを待っていますので。

◎副市長 はい、分かりました。

◆市民 よろしく願います。

○司会 それでは、この件については持ち帰らせていただいてから、改めて連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。2回目以降でも大丈夫ですが、ちょっと先に、すみません、後ろの方、願います。

◆市民 北栄町内会の・・・です。先ほど、ごみゼロの関係で、いろいろとお話しいただきましてありがとうございました。

ポータブル電源の電池のことでちょっとお聞きしたいんですけれども、ポータブル電源、小さいバッテリーであれば袋に入れて燃えるごみのときに処分すると。

近年、やっぱり災害だとかで、モバイルではなくてポータブル電源は結構大きい容量のバッテリーだとかがあるんですけれども、やっぱり故障したりして使えなくなって、捨てるということがあると思うんです。大体大きい会社ですと、その会社へ送って処分してもらうという形になるんですけれども、中国製だと、海外製だと、その会社がもうなかったりして、送り返せないとか、そういった場合、市のほうでどういったような処分をしてもらえるのか、ちょっと聞きたかったんですが。

○司会 ありがとうございます。ただいま、ポータブル電源を捨てるときはどのようにしたらいいかということでしたが、市のほうから回答できますでしょうか。

◎ゼロごみ推進課長補佐 お疲れさまです。ゼロごみ推進課、浅野目といいます。よろしくお願いします。今言われたポータブル電源ですとか、モバイルバッテリーにつきまして、やはり今言われたように、いろんな製品がかなりありまして、メーカーに問い合わせで処分していただく物もあったりだとか、ただ、海外製で一部ちょっと分からない物もあるんですよ。今のところ、市のほうにこのような問合せというのは、そんなにはない状況なんですけれども、まず私たちが今お話ししているのは有害ごみという位置づけの中で、透明な袋に入れて燃やせるごみに出していただくか、もし分からないようであれば、実際、私たちもいろんな製品を見ないと分からないというところもありますので、実情としては私たちのほうで一度預からせてもらって、物を見るという判断を実はしているところもあるんですよ。

そういうこともありますので、まず気軽にゼロごみ推進課のほうに一報、連絡いただいて、それでこちらのほうでちょっと判断させていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、一度物を確認してからということでしたので、ゼロごみ推進課のほうに連絡くださいということでしたので、よろしくお願いいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。2回目でも大丈夫です。

◆市民 東開町の・・・です。東開町の1丁目で、南1号公園というのが東開町の災害のときの指定公園になっているんですよ。この指定公園になっているのは、公園課の方がいるかどうか分かりませんが、これに関して、子供たちのうわさではお化け公園とよく言われていまして、なかなか

人が寄りつかないと。そんなところで災害の指定公園と。さらに、今度は草がぼうぼうと。これで何の遊具があるかといったら、砂場しかない。ベンチが1個と。これはお化けになるのは当たり前だと。いや、子供たちが呼んでるのそのとおりだなと思ひまして。

もうちょっと、少し公園らしい形にできないかなと。確かにあそこは外れですので、何も子供たちが遊びに行かないかもしれないけど、うわさとしてはお化け公園とかと言われている場所を災害指定公園に、草がぼうぼうというのは、もうちょっと市としては、隅々まで目をかけていたできないものかなと思ひまして、お願いいたします。

○司会 ありがとうございます。ただいま、東開1丁目の南1号公園のところをもうちょっと改善していただけないかということでしたが、回答をお願いいたします。

◎緑地公園課長 緑地公園課の小山内と申します。よろしくお願ひいたします。今、公園なんですけれども、最初に草刈りのお話をさせていただきますけれども、公園については、年に2回の草刈りを行っておりまして、春先にまず公園の草刈りを行って、その後、道路ですとかに行つた後、また夏休みぐらいを目指してもう一回、2回目の草刈りというのを行っています。

公園整備については、今やっている公園の整備というのは、古くなつた遊具の更新を中心に行つていまして、新たな公園の整備というのはなかなか今難しい状況になっておりますけれども、一度、ちょっともう一回現地を見て、どういったことができるのかというのは、またこちらのほうでちょっと検討させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○司会 それでは、一度現地を確認してから検討したいということでしたので、よろしくお願ひいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

◆市民 私、拓勇東町に住んでおります・・と申します。一度市には来ていただいているんですが、隣の雑草で困っております。

ネットをぐるっと隣の家に回しているんですけれども、ネットも外れているし、正面から見てもほしいと思ひていますし、春になったらフキノトウが出てくるんですけど、その種がすごく飛ぶんですね。

だから、そういうのも春になったら埋めてほしいとか、そんな状態ですので、苔もすごいんです。塀のとなり、すぐうちは畑にしているものですから、夏になったら、すぐ苔が青くなってくるんですね。

なので、天気予報を見ながら、根が張ってくるので、あまり期間を置くと、返すのに大変になってくるので、シャベルでひっくり返すんですけど、そんなのが大変なのと、それから、アリもすごいんですけど、言ったことがあるんですけど、どこにでもいるものだと言われました。そんなことは言われてなくも分かっています。

それから、やっぱり言われたくないのか、絶対に窓は開けません。カーテンも一切開けません。植わっている木がほとんど松なんですけど、木がもう、ものすごく大きくなっちゃって、針葉樹の葉はもう落ちてきているんですね。それと、雪解け前にすごく飛んできます。もう想像以上に大きくなっちゃっているんで、うちの土地、敷地全体に飛んでくるという感じなので、根が下りるので、ずっと年中拾っている感じです。

アリがすごいので薬を持って行って撒いていてもらっていたんですけど、嫌なことがあってから、私はもう行かなくなりました。たまに市のほうでも見に来てくれているのかなと思うこともあるんですけど、見に来てくれていたら、こんなにはならないんだろうなと思っております。

それと、両隣の反対側のおうち、ここもアリがすごいんですけど、どうしたらいいのかなと思っております。私もどうにもならなくて、市の方に洗剤を使うといいと教えていただいたので、黙って撒いたんですね。そうしたら、不法侵入だとか、気にし過ぎだとか、向かいの家は警察官だとかと言われました。

今年は、洗剤を500本使いました。私、2019年からちょっとこの状態なんですけど、幾らお金を使ったらいいのかなと思っています。

それから、裏の家もアリがすごいんですけど、去年はすごかったんですけど、やっぱり言いにくいので黙っていました。今年見ましたら、あまり変わらなかったです。そんな状態がずっと続いているんですけど、どうしたらいいんでしょうか。

○司会 それでは、ただいま両隣と後ろのおうち、雑草とアリがすごいということで困っているということだったんですけども、市で回答できる方はいますか。

◎市民生活課長 市民生活課の畑島と申します。今のお話の内容となりますと、恐らくご近所のトラブルというお話、ちょっと大きく言った話になるとそうだと思うんですけども、空地とか空き家ということであれば、やり方というのが、お話の仕方というのが一定程度決め事があるって進めていくことにはなるんですけども、ご近所同士となると、簡単に市のほうで間に入ってというところは、なかなかちょっと難しくなってくるところがございます。

今、ちょっとこの場では、なかなかお時間も限りがあるかと思しますので、後ほど、状況のほうをもう少しお聞かせいただいて、何かどのような手だてが考えられるかというのは、一度持ち帰らせていただければと思うんですけども、この場ではなかなか今、どういった対応が取れるということまでお答えすることは難しいと思いますので、もう少しちょっとお話をお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、改めて詳細については確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。一番後ろの方。

◆市民 沼ノ端中央町内会、・・・です。すみません、先ほど公園の草刈りを年2回しているという話をされていたんですが、僕、ちょうど夏休みのラジオ体操とかの担当をしまして、公園に行っているんですが、そんな草刈りをしているような状況には見受けられないんですが、どうでしょうか。

○司会 公園の草刈りについて、年2回の草刈りが本当にされているかということでしたが、回答をお願いできますでしょうか。

◎緑地公園課長 緑地公園課の小山内と申します。よろしくお願いいたします。もうちょっと詳しくお話しますと、春になりまして、まず公園の草刈りを行います。その後に、街路樹ですね、街路樹というか、植樹帯の草刈りですとか、低木の形を整えるという作業に入ります。その後に、市営住宅の草刈りに入りまして、その後、また公園に戻ってきます。公園に戻ってくるのが大体夏

休みの前ぐらいに戻ってくるというようなスケジュールになっているんですけれども、あとはラジオ体操のときに草刈りがされているか、されていないかということで言えば、ラジオ体操は公園を占有して使うという形になりますので、通常、町内会さんからは、公園使用の申請をいただきまして、何月何日にラジオ体操が始まりますというところを見て、それまでに草刈りをするようなスケジュールを我々のほうで立てて、草刈りに入っているという形に行っています。

それはラジオ体操であったり、町内会で行う各種イベントを目がけて、草刈りをしているという形でやっていますので、基本的には2回草刈りは入っています。

◆市民 その申請の紙というのはどこでもらえるんですか。一回もしたことがないんですけど。

◎緑地公園課長 できれば、申請していただければ、それをもって。

◆市民 初めて聞きました。

◎緑地公園課長 それをもって、その日付を目がけて2回目の草刈りに入りますので、今後、申請のほう、緑地公園課のほうに来ていただければ申請用紙がありますし、インターネットからでも用紙のほうはダウンロードできますので、今後、そういった手続をしていただければ、それを目がけて草刈りをさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いします。

◆市民 分かりました。

○司会 それではお時間が近づいてまいりましたが、もし、最後にどなたか一人質問したいという方がいらっしゃったら、お受けしたいと思います、どうでしょうか。

◆市民 ウトナイ町内会の・・・と申します。ページ数の10ページの要望番号23に関連してなんですけれども、23のところでごみのポイ捨ての関係なんですよ。ここで言っている苫小牧東インターチェンジの出入口からということはピンとこないんですけど、多分日高道のことを言っている、日高道のウトナイ湖側のほうの道路、すごくごみが多いんですよ。

それでちょっと懸念されるのは、その要望番号20番なんですけれども、3年後ぐらいに勇の原公園が出来上がって、子供たちが相当数ここで遊ばれると思うんですよ。そうすると、何が懸念されるかという、熊なんですよ。そして、近くにはウトナイ湖があって、支笏湖からずっとウトナイ湖側のほう、植苗地区、あの辺は毎年熊が出るところなんです。それで、ここが今度は出来上がって、このごみがそのまま放置されると、生ごみだとか、あとジュースの甘い飲物、それが結構捨てられているんですね。

俗に言う熊が好きそうな物、それが捨てられているので、これ、まだ公園は出来上がっていませんけれども、3年後ぐらいになると、出来上がってくるとその辺がちょっと懸念されますので、この辺を強力に要望したいなと思っています。よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。事前要望の23番に関連しまして、今ごみのポイ捨てが多いということで、熊を誘引してしまうのではないかとということでしたが、市のほうから回答をお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長補佐 ごみのほうを担当しているゼロごみ、浅野目といいます。よろしくお願いいたします。ご要望いただいたこの場所につきましては、実は私も見に行きまして、今言われたやっぱりウトナイ地区側じゃなくて反対側のほうが、やはりかなり空き缶ですとかのポイ捨てが結構あ

ったという状況にはございました。私も見てきました。

その上で、ウトナイ地区町内会さんの皆さんに関しては、日頃、いつもごみのポイ捨てですとか、一緒にちょっと協力して、大掃除とかもよくやってきたんですけれども、やはりこちらの場所というのは、なかなか大掃除がしづらいところなんですよ。

事前に、こちらがあった91号線に関しては、歩道もないというところでした、なかなかボランティア清掃をやるというのが限界なところでもございましたので、今回、この場所につきましては、それぞれ道道の管理者と国の管理者のほうに、私どものほうから要請ということで、きちんと管理していただきたいということで、要請のほうを行ったところでございます。

どちらのほうも、国にしても、北海道のほうにしても、まずパトロールを強化したいということで答えはいただいているんですけれども、改めまして私どものほうから、今日、この場があったことも含めまして、また要請のほうをさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆市民 よろしくお願ひします。

○司会 それでは、お時間となりましたので、意見交換については終了させていただきたいと思ひます。

まちかどミーティング終了後、各担当のほうから、場所の確認や連絡先とかをお聞きたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。それでは、最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、木村副市長よりご挨拶させていただきます。

◎副市長 皆さん、どうも、貴重なご意見をありがとうございました。

市としても、すぐできることはさせていただくという形で仕事はしているつもりであります。ただ、やはり予算が伴う事業ですとか、なかなか解決するのに時間がかかる部分のある事業もあるかと思ひますけれども、その辺は解決策、知恵を出しながら、しっかり考えて、その過程、経過というものはお知らせしながら進めてまいりたいと思ひています。

また、北海道ですとか国に関する要望に関しましては、私どもが関係する機関にしっかりつけていきたいと思ひておりますので、今後とも何かございましたら、お気づきの点がございましたら、市の担当のほうにご連絡いただきたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

本日、長時間にわたってお付き合いいただき、誠にありがとうございました。

これを持ちまして、まちかどミーティング終了をさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 以上を持ちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。